

猪俣 慎二

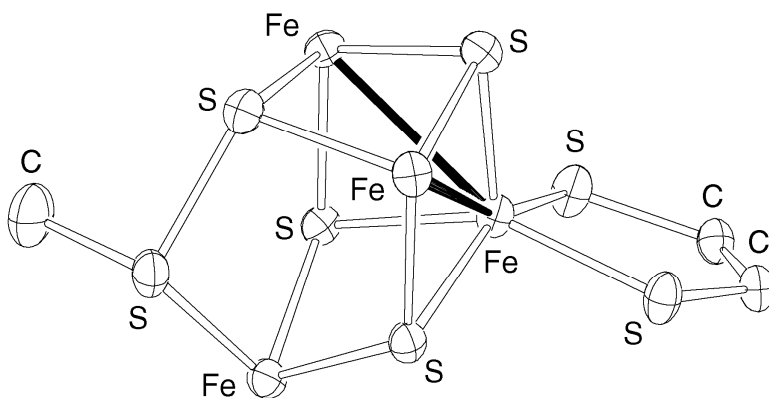
Inomata Shinji
博士 (理学) 東北大学

1992年 東北大学理学部助手

1997年 福島大学助教授

遷移金属-カルコゲンクラスター化合物の合成と性質

遷移金属と硫黄などのカルコゲン元素を含む化合物は HDS 触媒や鉄-硫黄タンパクのモデルとして注目を集めている物質です。私たちは遷移金属-カルコゲン部分を有機配位子で取り囲んだ新規なクラスター化合物や硫黄の鎖を持つポリスルフィド錯体を合成し、その構造や反応性を明らかにしています。図は私たちが合成に成功した鉄-硫黄骨格を持つクラスター化合物が、有機ハロゲン化合物であるヨウ化メチルを活性化して得られた新しいクラスター化合物です。



学会活動

日本化学会, 錯体化学会, 電気化学協会, アメリカ化学会

社会活動

福島大学公開講座, 中学生・高校生のためのオータムレクチャー

主な担当科目

無機化学概論
環境触媒化学
ほか

相談に応じられる分野・テーマ

- ①無機化学
- ②有機金属化学
- ③錯体化学

キーワード

遷移金属, カルコゲン元素, クラスター化合物, 電気化学, X線結晶構造解析

代表的な業績

“Reaction of Mixed-Ligand Iron-Sulfur Cluster $[\text{Fe}_4(\text{Cp}^*)_3(\text{Ph}_2\text{C}_2\text{S}_2)(\mu_3\text{-S})_3(\mu_3\text{-S}_2)]$ ($\text{Cp}^* = \text{C}_5\text{Me}_5$) with Methyl Iodide. Synthesis, Structure, and Redox Behavior of $[\text{Fe}_4(\text{Cp}^*)_3(\text{Ph}_2\text{C}_2\text{S}_2)(\mu_3\text{-S})_3(\mu_3\text{-S}_2\text{Me})]$ ” *Bull. Chem. Soc. Jpn.* **2004**, 77, 1161.